

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名：北海道留萌市立緑丘小学校

活動名：みんなで働き方改革！～ゆとりで繋がる、繋げる～

解決すべき課題：本校の20代を中心とした若手教員の割合は35%であり、若い世代が学校の大半を占める存在となっている。そのため、熱意あふれる若手教員の計画的な育成を図りながら、学校全体が組織として運営されていくためには、中堅教員が積極的に働き方改革に目を向け、学校全体の業務改善や授業改善を行うことが肝要であると考えた。

目標・方針：働き改革により、児童も先生もイキイキする学校づくり～先生の心のゆとりづくりに向けて～

- ① 各学年における指導体制の見直しによる効率化（中学校教員の乗り入れ授業、指導の分担）
- ② 保護者向け文書の一本化による効率化（長期休業に関わるお知らせ、学級通信）
- ③ 校務支援システムの活用による学級業務等の短縮による効率化
- ④ T.T 及び事務補助員の効果的な活用による効率化（採点業務、教材準備のサポート、授業支援、学級事務補助、プリントの印刷等）
- ⑤ ICT 及び思考ツールを活用した授業改善の促進による効率化

活動内容：

- ① 中学校教員による外国語の乗り入れ授業の実施及び特別支援学級における交流学习や共同学習での特別支援担当の学級担任による T1 指導の実施による指導の分担を行った。
- ② 学年ごとに配付している長期休業に関するお知らせ（写真1）や学級通信を学校だより（写真2）に統一するなど、重複する業務の改善を図った。
- ③ 全校に導入されている校務支援システムを積極的に活用し、出退勤管理、掲示板を使った諸連絡、児童の出欠の状況、職員の動向など、ペーパーレスで情報共有を図った。（写真3・4）
- ④ T.T 及び事務補助員の効果的な活用により、T1 及び T2 の役割の入れ替えによる授業改善、採点業務、宿題の提出状況等の確認、教材教具の準備、欠席した児童の補習、休み時間での指導、授業で使用するプリント作成・印刷など、業務の分散化を行った。
- ⑤ デジタル教科書の導入、思考ツールの積極的な活用により、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めた。

活動の成果：

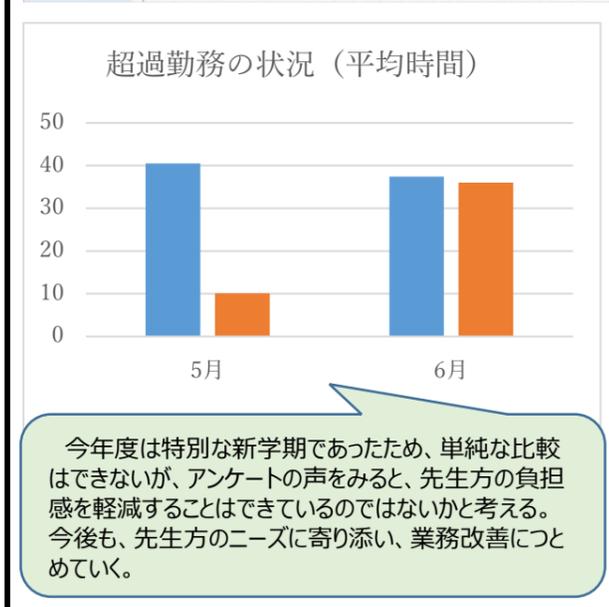
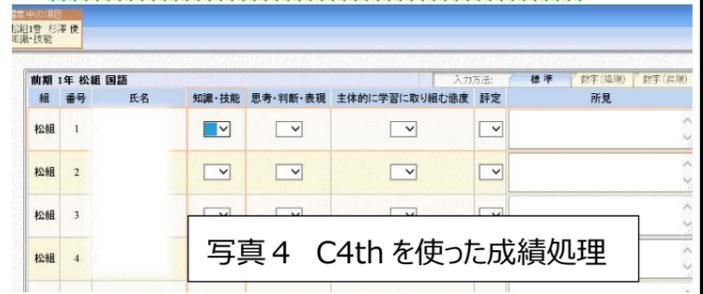
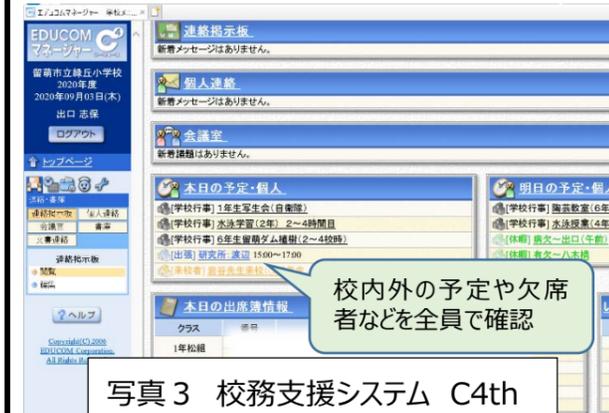
- ① 学年内の教諭で連携を図りながら理科や図画工作の指導を行い、教員個々の負担軽減を行った。このことにより、教材研究にかかる時間を短縮させ、放課後時間の確保が図られた。
- ② 周知する内容が精選され、保護者にとっても、複数の学年の状況を1度に知ることができるなどの効果が見られた。また、これまでの作成にかかわる学級担任の負担が解消され、業務改善につなげることができた。
- ③ 職員会議や職員朝会等の時間が短縮され、放課後の時間が確保できるようになった。今年度は成績の入力ならびに通知表印刷も校務支援システムを使って進めていく予定である。また、通知表の発行を年3回から2回に変更したことにより、長いスパンで子どもの成長の様子を伝えることができることにつながるとともに、学級担任の業務改善が図られた。
- ④ 採点業務にかかる時間が多い悩みを抱えていたが、T.T と連携して分担することで業務改善が図られ、超

過勤務の縮減につなげることができた。（グラフ1）

- ⑤ ICT を活用して、教材を拡大して見せたり、写真で見せたりできるようになり、効果的な指導につながるのと同時に、教材準備にかかる時間の減少につながった。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- チームとしての組織的な業務改善の推進
- 校務支援システムの積極的活用による業務改善
- T.T との連携による教材準備や採点業務を通した子どもの見取りなど学級担任との協力体制の構築



アンケートの声より

- ・平日の放課後業務に割かれる時間が減りました。教材の準備、プリント作成などをやってもらい楽になりました。
- ・臨時休業期間、全学年の自習課題の作成や学習計画づくりなど学校全体に関わる業務を積極的にしてもらい、助かったし、学校の教育活動にとってプラスになった。
- ・土日の出勤が減りました。必要な教材の準備などをすぐに行ってもらえるのはありがたかった。T.T の関わりによって、児童の授業への取り組む姿勢にも向上がみられている。
- ・採点業務などで割かれている時間がかなり減りました。授業中も板書やICT操作をしてもらい、子どもの理解度の把握に専念できたことも大きかった。
- ・朝学習の時間や休み時間にも児童のサポートをしてもらい、複数の目で指導することでより多くの児童を救うことができた。担任をこのような方法で支援してもらいありがたかった。